

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3月から前年売上をクリアする日が多くなってきた。近隣百貨店の改装効果も一巡した。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・毎月いろいろなイベントを行っている効果で、やや集客が増えた。ただ、それが直接売上に結びついている業種とそうでない業種でばらつきがある。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・年金の受給日を中心に購買数も増えてきた。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・2月以降の2店舗の営業時間延長と4月に改装オープンする店舗の影響によって客数が増加傾向にある。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・新幹線の工事が近所であり、人の動きが多くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・店内の高額商品の動きが良い。地場産品である寿甘諸の価格が昨年と同じ時期より良い。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・婚礼家具の売行きが良かった。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・選挙月だというのに思った以上の来客があった。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・売上は3か月前と比べて上がっている。競合店が大型店舗も含めて多く出店しており、良い状態にある。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・販売量・来客数とも予算をクリアできた。
		都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・市内の複合商業施設のオープンに伴ってスタッフの宿泊があった。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・相談ごとも含めて仕事量が増えている。
		変わらない		商店街（代表者）
商店街（代表者）	来客数の動き			・近隣に複合商業施設ができ、客の回遊性を期待していたが一向に商店街に流れてこない。
商店街（組合職員）	それ以外			・今月になって廃業する店舗が数店ある。またビルのテナントが入らず、空き店舗のままで中心商店街が閑散としている。
商店街（代表者）	来客数の動き			・土日の来客数が少ない。客に交通費補助としてサービスしているチケットの使用済券の回収量が、前月比10%減少した。
百貨店（売場主任）	競争相手の様子			・近隣に複合商業施設がオープンし、相乗効果を期待したが、来客数が1割増えたものの、売上は前年キープがやっとで、客単価もやや下がった。
スーパー（店長）	お客様の様子			・チラシを出す時は前年並みの来客があるが、競合店のチラシと見比べて必要なものだけを買っている。
スーパー（店員）	販売量の動き			・近くにマンションが3戸建って客が増えたが、特売品や必要なものしか買わない。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き			・月初は花見需要で客数は増加したが、客単価は大幅に下落した。催事に関しては普通の買物以上にシビアになっている。
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き			・量販店やスーパーにおける特売合戦が激しく、客も特売品しか買わない。そのためスーパーでは平日は5%程度数字を落としているようだ。そのあおりを受けて当社では前年比約10%のダウンである。
衣料品専門店（店員）	単価の動き			・以前から高級ブランドと安価なものは動きが続いているが、中途半端に良いものが全く動かない。当社でもセール品や旧品などの安いものを入れると非常に動きが出る。他店でも安いものが集中する催事に客が集まっている。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き			・大々的なクリアランスセールを開催したが、客は初日に集中し、あとは平日並みであった。
その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	販売量の動き			・取引先の倒産、自己破産、会社更生法の適用が増えている。売り先が減る分、当社の販売も落ちる。
一般レストラン（スタッフ）	お客様の様子			・最近湯布院町に店を出したが、人通りは多いものの、買物袋を持っている人は少ない。客の話では土産物はどこの町でも買えるから買わないという。

	その他飲食〔居酒屋〕（店長）	お客様の様子	・焼酎ブームで良いと思っていたが、急に暑くなりビアガーデンがあちこちにオープンし、客が食事をしてから来るので食べ物が出ない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・気候が良くなって人の動きも若干出てきたが、歩く客が多いので、売上は変わらない。
	タクシー会社（営業担当）	お客様の様子	・良いと言う客もいれば悪いと言う客もいる。どちらかと言えば悪いと言う客が多い。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・無料サービスというたい文句に慣れてしまった顧客に対して、「有料でも買う」という強い動機を与えられる新サービスが打ち出せていない。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・市内に複合商業施設ができ、予想を上回る人出があったが、その施設以外は人の流れがない。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊、ゴルフはほぼ横ばい。イベント時には、ホテルは満館になった。イベント関連の特別展も目標どおりの来館があった。
	パチンコ店（店員）	来客数の動き	・業界全体が今苦境に立たされており、競合店でも大変苦勞している。どの店舗も客が安定しない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前半はにぎわうが、今年は例年になく伸びがない。
	美容室（店長）	お客様の様子	・客は景気が悪いと言いながら「旅行に行った」とか「コンサートに行った」と言っており、自分の趣味には金をかけている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・主たる購買層である40代の動きが悪い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・需要はあるが、なかなか決断しきれない。契約まで長期化する傾向がある。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売価格が一層の安値になっていて、売上が伸びない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・新学期のフレッシュマンフェアが始まったが、来客数が少ない。
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・当店の客層は高齢者が中心なので、市内にオープンした複合商業施設へ客が流れているとは思えないが、来客数が減少している。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・売上の牽引役となる婦人服に伸びが見られない。また、売上に占めるバーゲンの比率が上昇している。DM催事開催期間の来客数の増加が売上に反映しない。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・セールでも盛り上がりは欠き、各部門とも販売数量が昨年に比べ減少した。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・これまで低調だった客足に加え、販売額も低下傾向が見られる。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・売上高、購買客数ともに前年比90%強で、前月比でもマイナスになっている。ただ一品単価と客単価は下げ止まり感が出ている。
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・集客面を含めて平日の落ち込みが目立つ。医療費の負担増や石油価格の上昇、間近に迫った発泡酒等の増税といったことが、消費マインドに影響している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・単価の下落が続いているうえに、買上げ点数も減っている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・価格を下げても販売数量はあまり変わらない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・下げ止まっていた平均単価がさらに下降している。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料品関係、新生活関係（社会人、大学生）の動きが非常に悪いが、小学校の入学関連はいい。
	スーパー（経理担当）	単価の動き	・既存店レベルでの来客数は前年を維持しているが、売上高が2%以上落ち込んでいる。買い控えや特売での購入比率が高まり、客単価がかなり下落している。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・以前は弁当を飲物やデザートと一緒に買いにきていた客が、近くの弁当屋でディスカウントのキャンペーンがあると、弁当をそちらで買い、当店で飲物だけを買うようになっている。
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新入学や異動の時期で新たな客が増加するのを見込んでキャンペーンを行ったが、客数、客単価も変わらなかった。むしろ客の財布のひもはさらに固くなっており、既存店ベースの伸びもマイナスである。
	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・新入学、異動マーケットにおいて、1人当たり購入額が例年の10～20%ダウンした。

	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・戦争、SARS、株価の下落などで消費マインドが落ち込んでいて、かなり客が減っている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・モデルチェンジの車種もなく、グリーン税制の3月までの駆け込み需要により販売量はダウンした。
	その他専門店 〔医薬品〕（従業員）	単価の動き	・客単価、購買点数どちらも下がったままで上向く傾向は全然ない。
	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（統括）	競争相手の様子	・給油所の物件は原価償却、人件費、ネットワークなどの数字に出ないプラス要因が多いために、店舗数の多い会社が給油所閉鎖を実施することはあまりないはずだが、ここ数か月間閉鎖が増加している。12月単月で収支の出ない店舗は3月で閉鎖したようで、閉鎖店舗の従業員も再雇用されていない様子である。
	高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・イラク戦争、北朝鮮情勢、SARSの影響などの不安要因があって、客の様子も落ち着かない。
	都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・SARSのほか、国内政治も不安定で悪影響が出ている。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク戦争による海外旅行の減少はある程度覚悟はしていたものの、SARSによる海外旅行中止客が非常に多く、海外旅行部門の見通しが立たない。
	旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークが他の3連休と同じで長期の休みが取りにくいのと、SARSの影響で人気のあった中国や東南アジアへの旅行が激減した。また、統一地方選挙の影響で出足が鈍かった。
	タクシー運転手	お客様の様子	・県外からの客が少なく昼間の街に活気がない。夜は金曜日だけは人が多いが他の日は少ない。
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・客が少ないので、キャディの出動調整を4月から導入して経費の削減に努め、なんとか乗り切ろうとしているところである。
	競輪場（職員）	来客数の動き	・来客数が前年比10～15%落ち込んでいる。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場への来場が3月までと比べてかなり減っている。計画も少しずつ減っている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の契約数が、ここ1年で極端に減少している。展示場への来客は休日でも少なく、イベントを催しても反応は鈍い。税制面や住宅ローンの優遇措置が取られているが、効果が出ているかは疑問である。
悪くなっている	百貨店（売場主任）	単価の動き	・客数は減っていないが、単価が落ちている。物産展等に客は集まるが、1人当たりの売上が伸びない。
	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・最大需要期を過ぎたこともあるが、イラク戦争後の問題やSARSの不安と重なって、客の動きが鈍くなっている。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに入ったというのに昨年とは比較にならないほど予約がない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・4月は9割の客が閉店の知らせを聞いて来店し、売上は前年同月比1割減で済んだ。閉店を知らせなければ売上はほとんどなかったことになる。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・取引先の売上の低下によって、こちらからの契約が先送りになるケースが増えている。
企業動向関連	-	-	-
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の金型は、スポット的ではあるが非常に活発になってきた。大手取引先も、ある程度の受注量を確保しているようである。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の動きが活発になって仕事量が増えている。好調な新規事業だけでなく、半導体製造も活発である。
	建設業（総務担当）	それ以外	・官庁工事は年度替わりで発注が非常に少ないが民間工事は活発である。すでに受注した工事の設計を担当した設計事務所の推薦で入札の機会も増えてきた。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・決算内容を見ると、大幅に改善とはいかないまでも最悪期は脱したと判断できる。
	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上が前年比2ケタの伸びである。
変わらない	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・気候が暖かくなるにつれ、関東地区の露地物に押されて九州の農産物価格は逡減してきているが、昨年と比較すると逡減幅が少なく、価格帯もやや高い。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・需要期となる3、4月は動きが良いが、今年は昨年と比べてだいぶ落ち込んでいる。特に専門店、量販店の動きが悪い。

	建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・民間工事の減少が依然として続いている。案件が出て業者が多く参入し、たたき合いで低価格で落札するという悪循環が続いている。	
	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・複合商業施設のオ・プンに伴い受注量が増加した。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・最近の受注の内容は、リストラ、合理化絡みといった事業縮小関係が多い。	
やや悪くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・加工原料肉は偽装表示問題で国産指向が高まっており国内生産が増えている。加えて中国からの輸入も解禁になり、荷余り感から価格が下がっている。	
	繊維工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・例年であればゴールデンウィーク前に販売する製品の追加、クイック生産などの注文が頻繁に来るが、今年はそういったものがほとんどなかった。	
	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3～4月は需要期だが、今年はそれもなくなり、東京の大型物件もほぼ終わり、新たな情報もあまりない。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・SARSや株価の低迷が懸念される。	
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の事業部がリストラで廃止になった。その落ち込みをカバーするのが大変である。	
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注は量産品が減り、多品種少量の方向に移行しており、今までの70%程度に減少している。	
悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・遅防法に抵触するにもかかわらず、顧客から強引な値引き要請がくる。顧客は過去最高利益を出しても、その下請は過去最悪の収益状態となっており、このままでは中小企業は全滅してしまう。	
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	取引先の様子	・先行きが不透明なことから設備投資を先送りする経営者のマインドが散見される。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・先月同様、求人企業数が伸びている。建設、流通などキャリア志向の案件が増えているが、採用は以前にも増して厳選されており、成約には至らない。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期の派遣依頼は微増であるが、派遣料金下落が続いている。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・最近の登録者の動きを見ていると、他社登録が多く、他社でも派遣の終了者の登録が多く、派遣業界全体の仕事量が減っている。
学校〔専門学校〕（就職担当）		求職者数の動き	・30代後半から50代の男性の求職が多いが、仕事がない。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・コストに対する意識がどの企業も必要以上に強くなっており、値段が第一というところが多い。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・大手チェーン店直営で出店して10年を越す駅構内にある飲食店が4月で廃店になった。新規出店もあるが、中心部でのこうした廃店は気にかかる。	
	民間職業紹介機関（支店長）	雇用形態の様子	・企業の事務処理部門の縮小・統廃合、営業・生産部門以外のリストラ傾向が一段と強まっていて、契約期間の短期化、大口需要における価格下げ圧力は依然強い。中高年層の再就職は、求職者が増加する一方で、求人数は減少し続けている。また、コールセンター開設等による人材の需要は発生するが、従来の価格では到底成約できないケースが目立つ。派遣・紹介よりもパート・アルバイトといった低賃金の労働者を自社で直接雇用するケースが多く見られる。	
悪くなっている				